

中 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
<No. 4> 令和4年7月1日 (金)

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)

866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

無限の可能性

校長 長島 淑子

6月とは思えない猛暑の中、1年生にとっては初めての期末テストを行いました。それに先立ち、1週間前からフォローアップタイムを設け、各教科の先生方が、わからないところの質問を受けたり、学習方法のアドバイスをしたりしました。短い時間ですが、毎日どの教科も大盛況で、予定していた教室では足りないくらいでした。中には、こんな生徒もいて、「質問したいところが聞けたので、あとは家に帰って頑張ります！」と満足そうに帰っていきました。アンケートの結果から、参加者の約70%が満足し、「担当教科の先生が全員来てくれて質問しやすかった」「わからないところをすぐに先生に聞いて良かった」「先生方がわかりやすく丁寧に教えてくださったので、問題の解き方やポイントがたくさん学べました。」などの意見がありました。一生懸命な生徒たちを見て、先生たちも嬉しそうでした。半面、思うようにいかなかった生徒もおり、期間や方法を含め、これから改善していきたいと思います。

6月は生徒総会も行いました。「生活の決まり」について生徒たち自身が各クラスで意見を出し合い、自分たちの手で過ごしやすい環境をつくっていかうという試みです。特に髪型については、「運動する際や、給食の配膳の際など、その場にふさわしい髪形を考えることが大切」などの意見もあり、中学生なりによく考えていることに感心しました。生活をよりよくするためには、様々なことを自分の頭で考えること、自分のことだけでなく、まわりのことも考えることの必要性を感じ、経験してくれればと思います。また、6月はいじめ撲滅強化月間でもありました。朝礼で校長が話すだけでなく、生徒会から毎日お昼の放送で様々な呼びかけをしています。ここでもまわりの人の気持ちを考えて行動できるとよいですね。

27日から3日間、3年生は待ちに待った修学旅行に行ってきました。コロナ対応や熱中症対応を何パターンも考え、眠れぬ夜を過ごしていた私をよそに、生徒たちは「ワクワクして眠れませんでした！」と満面の笑みで出発しました。6月とは思えない記録的な暑さで、飲み物を持っていないと身の危険を感じるような3日間でしたが、3年間で初めての校外宿泊学習だった3年生は、舘岩の時の計画や準備が生き、初めてとは思えないくらいの成果をあげました。各部屋での黙食をはじめ、マスクでの活動、消毒液持参の行動等前代未聞の修学旅行でしたが、生徒たちはよく約束を守り、よく考え、よく遊び、よく学んでいました。

最終日に、何が一番心に残ったかを聞くと、様々な声が聞かれ、心の底から3日間を楽しんでくれたことを感じました。失敗もあったでしょう。でも、そこでどうすべきかと考えること、みんなで協力して解決策を見出すことが大切です。そんな体験をさせることができ、本当に良かったと先生方と胸をなでおろしました。生徒たちから、「無限の可能性」を感じた3日間でした。頑張れ白中生！

